E762Z563H50

MITSUBISHI

三菱蛍光灯器具

蛍光灯シーリング

形名　FP4131E，EL
　　　FP4132E，EL

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。
またアフターサービスもできません。

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきましてありがとうございます。

お客さまへ

■ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくために この「取扱説明書」を必ずお読みください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

特長1．約5万Hzもの高周波の電子点灯でランプのチラツキが感じられません。
2．電子点灯ですので約3秒で即点灯します。
3．周波数50、60Hzの関係なく全国どこでも使用できます。

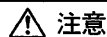
安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を ⚠警告 ⚠注意の表示で区分して、説明しています。

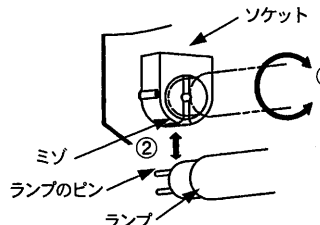
⚠ 警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などに結びつく可能性があるもの

■お客様自身で分解・改造はしない。火災・感電の原因
■異常時は電源スイッチを切る。（煙がでたり、変な臭いがしたら、すぐスイッチを切る）感電・火災の原因
■布や紙など燃えやすいもので覆ったりかぶせない。
■引火する危険のある雰囲気で使わない。
（可燃性スプレーなどを吹き掛けない。）火災の原因

⚠ 注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

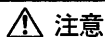
■高温(40℃)な場所で使わない。落下・感電・火災の原因
（器具の下でストーブなどを使わない。）
■調光器との併用はしない。破損・発煙の原因
■お客様自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です
感電の原因

ランプ交換のしかた　⚠ 注意　電源を切ってください。　感電の原因になります。

<ランプの取外しかた>
(1)①ランプを左右いずれかの方向に90°回転させてください。
(2)②ランプを真下に引いて外してください。

<ランプの取付けかた>
(1)②ランプのピンをソケットのミゾに合わせて入れてください。
(2)①ランプを左右いずれかの方向に90°回転させてください。

ランプ交換について
（2灯用の場合）
寿命になったランプを外すと他のランプが消灯しますが異常ではありません。
新しいランプに交換すると、正常に点灯します。

適合ランプ
FHF32
FL40SS(EX)/37（同梱）

⚠ 注意

■ランプのガラス、口金部分を強くねじらない。
ガラスの破損によりけがの原因
■器具表示の指定ランプ以外のランプは使用しない。
過熱して火災の原因
■ランプに塗料などを塗らない。
ランプが過熱、破損してけがの原因
■点灯中及び消灯直後のランプは触らない。
高温のためやけどの原因
■使用済みランプは不用意に割らない。
ガラスの破片が飛散してけがの原因

お手入れ　⚠ 注意　電源を切ってください。　感電の原因になります。

器具の汚れは、柔らかい布をぬるま湯か、うすめた中性洗剤につけ、よくしぼってから拭きとってください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯などは使用しないでください。
安全にご使用いただくために、半年に一回の保守・点検をおこなってください。

⚠ 警告
器具・ランプを水洗いしない。
感電・火災の原因

シンナー　熱湯　タワシ　使わない!!

お願い

●器具の近くでラジオを使用すると雑音が入る場合があります。離してお使いください。
●長時間器具をご使用にならない時は、壁スイッチで電源を切ってください。
●器具の近くではテレビ用などの赤外線リモコンが作動しない場合がごくまれにあります。離してお使いください。

故障かな？とおもったら

確　認	処　置
①壁スイッチが入ってますか？ ②ランプソケットの接続不良ではありませんか？ ③ランプ切れではありませんか？	①壁スイッチを入れてください。 ②ランプソケット部を確かめてください。 ③新しいランプと交換してください。

仕様

形　名	灯数	定格電圧	入力電流	消費電力	周波数	同梱ランプ	点灯方式
FP4131E，EL	1灯用	100V	0．44A	44W	50／60Hz	FL40SS(EX)／37×1	電子回路式
FP4132E，EL	2灯用	100V	0．74A	74W	50／60Hz	FL40SS(EX)／37×2	電子回路式

⚠ 安全に関するご注意　～～照明器具の寿命について～～

■照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
点検、交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。（JIS C 8105-1 解説による。）
■周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
■点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。ランプなどの消耗品は、対象外です。
詳細は弊社カタログをご参照ください。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。（JIS C 8105-1 解説による。）
■弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。※性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品

アフターサービスについて

■修理のお問合わせは、「修理窓口」へ
東日本フロントセンター　TEL(03)3424－1111　東京都世田谷区池尻 3-10-3
西日本フロントセンター　TEL(06)6454－3901　大阪市北区大淀中 1-4-13
フリーダイヤル　(0120)56-8634

■その他のお問合わせは、「ご相談窓口」へ
お客さま相談センター（フリーコール）
(0120)139-365
東京都世田谷区池尻 3-10-3

三菱電機株式会社
製造会社　三菱電機照明株式会社

〒247－0056　神奈川県鎌倉市大船2－14－40
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf/
☎(0467)41－2729　FAX (0467)46－2786

施工説明書

■電気工事には電気工事士の資格が必要です。

施工者さまへ

■施工の前に、この説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
■取付け工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を ⚠警告 ⚠注意の表示で区分して、説明しています。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

■施工は、電気工事士の有資格者が「電気設備の技術基準」・「内線規程」に従って行う。

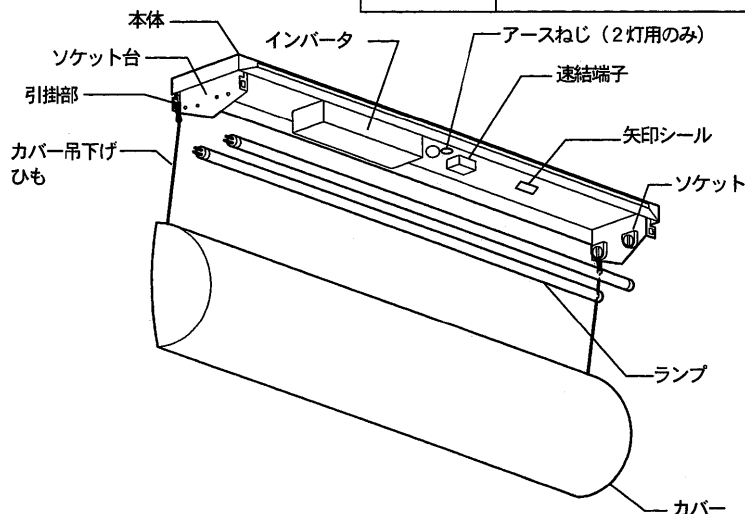
⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■次のような場所に取付けない。落下・感電・火災の原因
・高温(40℃)の場所　・強い振動、衝撃のある場所
・竿ぶち天井

■風呂場など、水や湿気の多い場所で使わない。
火災・感電の原因
■交流100V以外の電圧で使用しない。過電圧を印加した場合火災の原因

各部のなまえ

附属品	（2灯用のみ）
木ねじ　3本	アース端子　1個
	六角ナット　1個

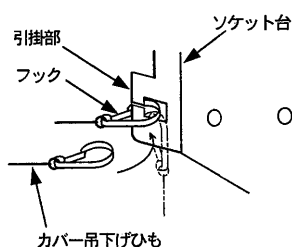
●図は２灯用を示します。

（この図は共通化のため、一部省略、抽象化してあります。）

カバー・ランプの取付けかた

1．ランプの取付けかたは、ランプ交換のしかたを参照して、取付けてください。

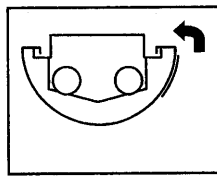
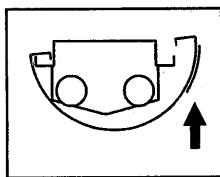
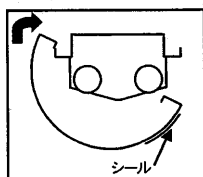
⚠注意

■カバーを取付けたとき、引掛金具の影が見える場合は、取付けが不完全です。　落下の原因

2．カバー両端に取付けてあるカバー吊下げひものフックをソケット台の引掛部に引掛け、カバーを吊下げてください。

3．カバーを図に従い本体に取付けてください。

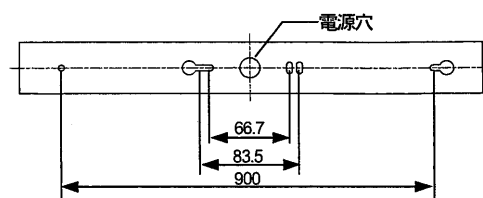
カバーのシールの反対側を天井にあたるまで押上げ、水平方向に押しさげる

反対側を天井にあたるまで押上げる

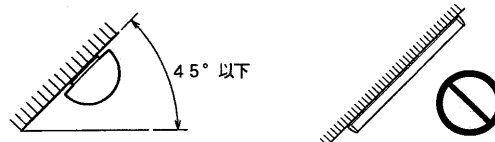
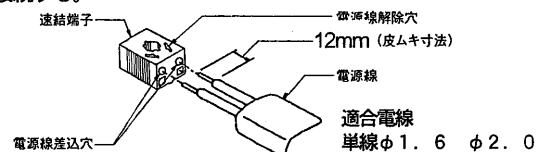
カバーを水平方向に押し、下にさげる

⚠注意

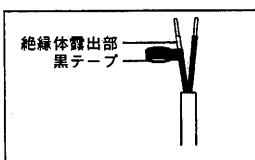
■カバーは確実に取付ける。
斜め取付け、不完全な取付けは　落下の原因

電気工事　⚠注意　電源を切ってください。感電の原因

1．本体中央の電源穴に電源線を通す。
2．本体取付け
(1)附属の木ねじ３本で本体を天井面のしっかりと補強された部分に取付ける。
(2)アウトレットボックスカバーに取付ける場合はＭ４ねじとワッシャーを使用してしっかりと取付ける。
(天井面と器具端部に隙間が出る場合は木ねじ等で補助願います)

⚠注意

■板厚の薄い所や強度的に不十分な所に取付けない。落下の原因
■器具取付面(クロス・コンクリート)が乾燥不十分の場所に取付けない。
絶縁不良や錆による感電・落下の原因
■４５゜を超える傾斜天井には取付けない。指定角度より角度の大きい天井への取付けは、落下の原因
■指定方向以外の取付けは、落下の原因

★傾斜天井の場合
本体に貼り付けてある矢印シールを天井の高い方へ向けて取付ける。

3．電源線を接続する。

○ＥＭ（エコマテリアル）ケーブルを電源電線にご使用の場合

絶縁体の補修処置方法例

⚠警告

■ポリエチレン系絶縁体を使用したＥＭ（エコマテリアル）ケーブルをご使用される場合には、端末部付近の絶縁体露出部を黒テープなどで覆い保護を施してください。（感電・火災の原因）

備考：EMケーブル(EM－EEF)＝600Vポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル平形

4．アース工事を行う。（ＦＰ４１３２Ｅ，ＥＬの場合）
Ｄ種（第３種）接地工事を行ってください。

⚠警告

■電源線接続の際は、電源線を張った状態としない。
接続不良による発熱で火災の原因
■指定太さの電源線を指定長さに被覆を剥がし１本ずつ速結端子の奥まで差込む。
差込み不十分は接触不良により感電・火災の原因
■アース工事を行う。感電・火災の原因